

老人と障害者の自立のための

40周年記念

40th 国際福祉機器展 Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition 2013

会 期：2013（平成25）年9月18日（水）～20日（金）

会 場：東京ビッグサイト 東展示ホール（東京都江東区有明）

出展社数：585社・団体（日本526社・団体、海外59社）※見込み

開場時間：午前10時～午後5時 入 場 料：無料（登録制：当日または事前）

主 催：全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会

【開催内容】（予定）

40周年を迎える国際福祉機器展 H.C.R.2013 では、高齢者や障害者の自立と社会参加の促進と、家庭や福祉施設での介護の質の向上を目的に、杖・車いす・福祉車両、入浴・トイレ、住宅改造機材などの福祉機器、高齢者むけ食品や衣類など日常生活を支えるさまざまな生活用品を総合展示します。

また、最新の福祉・介護・リハビリなど役に立つ情報を以下のような多彩なセミナーなどの企画・イベントを行うじて、福祉関係者、企業関係者、そして一般の方々に提供いたします。

①福祉機器約20,000点を総合展示 **WEBにて来場者登録を受付中です！**

②国際シンポジウムを開催（9月19日） **WEBにて参加申込を受付中です！**

テーマ「活力ある高齢化と世代間連帯へのドイツの挑戦～公的年金をめぐるパラドックスの解決策となるか？～」(9月19日)を開催。

③H.C.R. セミナーを開催（9月18～20日） **WEBにて参加申込を受付中です！**

福祉職から一般、福祉利用者、家族までをそれぞれ対象として、保健・福祉・介護をテーマに連日開催。

④出展社によるプレゼンテーション

⑤H.C.R. 特別企画 **本紙にて詳細をご紹介します！**

- (1) 障害児のための「子ども広場
- (2) ふくしの相談コーナー
- (3) 知っているとこんなに便利！～身の回りにおけるテクノロジー（アルテク）で創る豊かで楽しい生活
- (4) 高齢者・障害者の生活支援用品コーナー～生活に便利なグッズ、その知られざる歴史とノウハウ「目からウロコ展」
- (5) 福祉機器開発最前線
- (6) 被災地応援コーナー

⑥40周年特別企画 **本紙にて詳細をご紹介します！**

H.C.R.40周年記念パネル展示

その他にも、多彩なプログラムを実施予定。

I H.C.R.特別企画

展示会との併催でホール内の「特設会場」において行う各種特別企画も、さらに内容の充実をはかり、以下の日程・内容にて実施いたします。

○開催日：2013年9月18日(水)～20日(金) (※期間中3日間をとおして設営)

○会場：東京ビッグサイト/東3ホール内(特設会場A)、東6ホール内(特設会場B、C)

時間	テーマ	対象者	セミナー、デモの有無	会場
10:00～17:00	障害児のための「子ども広場」【9】	一般、福祉サービス利用者・家族むけ		特設会場 A (東3ホール内)
10:00～17:00	ふくしの相談コーナー【10】	一般、福祉サービス利用者・家族むけ		
10:00～17:00	知っているところなのに便利！身の回りにあるテクノロジー(アルテク)で創る豊かで楽しい生活【11】	一般、福祉サービス利用者・家族むけ	セミナー	特設会場 B (東6ホール会議室)
10:00～17:00	高齢者・障害者等の生活支援用品コーナー～生活に便利なグッズ、その知られざる歴史とノウハウ「目からウロコ展」【12】	一般、福祉サービス利用者・家族むけ		特設会場 C (東6ホール内)
10:00～17:00	福祉機器開発最前線【13】	一般、福祉サービス利用者・家族むけ	デモ	
10:00～17:00	被災地応援コーナー【14】	一般、福祉サービス利用者・家族むけ		東6ホール 〔小間番号：6-18-06〕

※会場は変更となる場合があります。

※「セミナー」「デモ」の印の企画の詳細なプログラムについては、次頁以降をご確認ください。

特設会場 A (東3ホール内)

障害児のための「子ども広場」【9】

障害のある子どもの発育段階において、福祉機器の利用は成長と生活において大きな可能性を拓けるものです。そこで、子ども向け福祉機器の開発・普及を目的に「子ども広場」を会場内に設置して子ども向けの福祉機器を総合展示するとともに、福祉機器の利用や療育についての相談コーナーや、保育士が常駐するひとやすみコーナーのほか、新企画「親子で楽チン！ワクワク！入浴グッズ体験コーナー」などを設けます。

【I 福祉機器展示コーナー】

終日展示。展示製品について、下記時間帯に説明を聞くことができます。

	11:00～12:00	13:30～14:30	15:00～16:00
9月18日 (水)	○いす・カーシート ○食器・食器/衣類・靴	○学習機器/コミュニケーション機器	○車いす ○バギー・歩行器
9月19日 (木)	○車いす ○バギー・歩行器	○いす・カーシート ○食器・食器/衣類・靴	○学習機器/コミュニケーション機器
9月20日 (金)	○学習機器/コミュニケーション機器	○車いす ○バギー・歩行器	○いす・カーシート ○食器・食器/衣類・靴

【Ⅱ 相談コーナー】

9月18日(水)	11:00～12:00	13:00～14:30	15:00～16:00
9月19日(木)	11:00～12:00	13:00～14:30	15:00～16:00
9月20日(金)	11:00～12:00	13:00～14:30	15:00～16:00

※上記の時間帯には、療育相談と福祉機器相談について、それぞれ2名の担当が配置されます。

※各日13:00～14:30は、Ⅲ 入浴グッズ体験コーナーの説明も受けられます。

【Ⅲ 親子で楽チン!ワクワク!入浴グッズ体験コーナー】

毎日抱っこで子どもをお風呂に入れているお母さん!

本当にその方法で大丈夫ですか?最近、便利な福祉用具がたくさん開発されていますよ。

このコーナーは、HCRに出展されている企業のなかから子ども向けのお風呂用具を集めて、比較体験する場所として設けました。実際に浴槽も展示されているので、介助のイメージはとてもしやすいはず!

バスチェアやバスキャリー、リフトなどたくさん展示しています。

お母さんたちの腰痛予防はもちろんのこと、子どもの大好きなお風呂の時間を楽しくするために、ぜひ体験してください。

☆Ⅰ～Ⅲの企画への運営ご協力:横浜市総合リハビリテーションセンター

【Ⅳ ひとやすみコーナー】

保育士が常駐しています。広場のおもちゃを使って子どもたちと遊んだり、保護者(親)のみなさんと子育てについてお話ししましょう。

☆Ⅳの企画への運営ご協力:東京都社協保育士会

ふくしの相談コーナー【10】

技師、作業療法士などの専門家が、福祉機器や自助具に関わる来場者の相談に無料で応じます。

☆【10】の企画への運営ご協力:日本作業療法士協会

大阪府肢体不自由児協会大肢協ボランティアグループ自助具の部屋

特設会場B(東6ホール内、ガレリア入口横)

知っているとこんなに便利!身の回りにあるテクノロジー(アルテク)で創る豊かで楽しい生活【11】

手話通訳

多くの人の身の回りにあるテクノロジー(アルテク)を用いることで、障害がある人の生活が大きく変わります。

たとえば、印刷された本を読めない人でもタブレットPCを用いると電子書籍や新聞を簡単に読むことができますし、音声が使えないためにコミュニケーションに不自由を抱える人も、スマホでチャットを楽しみ、また、アプリを入れれば音声で会話することも可能です。そのほか、メモをとれない人はICレコーダやデジカメを上手く活用すればよいなど、無限大の可能性が広がっています。

このセミナーでは、誰もが日常活用しているスマホ、タブレット、ICレコーダなどのICT(情報通信技術)製品を、障害のある人の生活や学習支援に活かすアイデアとともに紹介します(プログラムは次頁を参照)。

18日 (水)	12:15～12:45 「重度障害のある人の意思を読む ーキネクト OAK を用いたわずかな動きの活用や呼吸のモニタリングー」 巖淵 守 氏 (東京大学先端科学技術研究センター)		14:15～14:45 「障害のある子どもの学びや生活を支える魔法の道具 ー魔法のプロジェクトから見えたタブレットやスマホが創る新しい生活ー」 中邑賢龍 氏 (東京大学先端科学技術研究センター)	15:15～15:45 「視覚障害のある人がタブレットやスマホを使ってみると ーiPhone,iPadが創る新しい生活ー」 三宅 琢 氏 (Gift Hands)
19日 (木)	12:15～12:45 「障害のある子どもの学びや生活を支える魔法の道具 ー魔法のプロジェクトから見えたタブレットやスマホが創る新しい生活ー」 河野俊寛 氏 (東京大学先端科学技術研究センター)	13:15～13:45 「重度障害のある人の意思を読む ーキネクト OAK を用いたわずかな動きの活用や呼吸のモニタリングー」 巖淵 守 氏 (東京大学先端科学技術研究センター)		15:15～15:45 「読み書きの難しい人に使えるアルテクトーデジタル書籍や新聞を読んで IC レコーダやデジカメで記録する」 河野俊寛 氏 (東京大学先端科学技術研究センター)
20日 (金)	12:15～12:45 「障害のある人とのコミュニケーションに使えるアルテクトーキーボードアプリやカメラを活用する」 田代洋章 氏 (NPO 法人 e-AT 利用促進協会)		14:15～14:45 「障害のある子どもの学びや生活を支える魔法の道具 ー魔法のプロジェクトから見えたタブレットやスマホが創る新しい生活ー」 中邑賢龍 氏 (東京大学先端科学技術研究センター)	15:15～15:45 「重度障害のある人の意思を読む ーキネクト OAK を用いたわずかな動きの活用や呼吸のモニタリングー」 田代洋章 氏 (NPO 法人 e-AT 利用促進協会)

定員 90名 (※自由参加、先着順にご案内いたします。)

特設会場 C (東 6 ホール内)

高齢者・障害者等の生活支援用品コーナー

～生活に便利なグッズ、その知られざる歴史とノウハウ「目からウロコ展」～【12】

福祉機器には、障害のある人や高齢者などの自立や介助を支援するために、研究や工夫の歴史が詰まったモノが沢山あります。

- はじめは、障害のある人のために開発されたものが今では一般化され、多くの人が便利に使っているモノ
(ライターや温水洗浄便座)
- 利き手に関係なく使えるモノや、特に左利き用に作られたモノ (トランプ)
- 触っただけで中身の違いが分かるモノ (柏餅、シャンプー・リンス、牛乳パック)

- 片手でも操作できるモノ（トイレトペーパーホルダー）
- 高齢者にも聞こえる音で「はじまり」や「おわり」を知らせるモノ
(2,500ヘルツ以下の報知音の出る家電製品)
- 音声で重要なコトを知らせてくれるモノ（音声体重計）
- その人に合わせて販売してくれるシステム（片足ずつ販売している靴）
- 字幕付きのテレビコマーシャル
- お風呂、日本の工夫の宝庫

などなど、実は普段、接しているモノの中にも、いろいろな工夫があります。どうか、手にとって、試してみただけたらと思います。

きっと、なかには、家族やお友だちに、自慢して話したくなるモノがあるはずです。
どうか、目からウロコを落としにいらしてください。お待ちしております。

目から鱗が落ちる

あることがきっかけとして、急にものごとの真相や本質が分かるようになること。(広辞苑 第六版)

☆【12】の企画・監修、運営ご協力：共用品推進機構

福祉機器開発最前線【13】／デモンストレーションの会場に手話通訳*

企業・研究機関の研究開発、試作状況などの情報提供や紹介の場として、最新の機器や製品の展示及びデモンストレーションを行います。

なお、具体的な展示製品などについては、今後のプレスリリースでお伝えいたします。

*「特設会場C」のセミナー・デモンストレーション開催予定表

H.C.R.セミナーの「高齢者むけの手軽な日々の食事【8】」と「福祉機器開発最前線【13】」のセミナー・デモンストレーションについては、以下のように開催します。

18日 (水)	11:00~12:30 福祉機器開発最前線 デモンストレーション		13:00~14:00 高齢者むけの手軽な日々の 食事		14:30~16:30 福祉機器開発最前線 デモンストレーション
19日 (木)	11:00~12:30 福祉機器開発最前線 デモンストレーション		13:00~14:00 高齢者むけの手軽な日々の 食事		14:30~16:30 福祉機器開発最前線 デモンストレーション
20日 (金)	11:00~12:30 福祉機器開発最前線 デモンストレーション		13:00~14:00 高齢者むけの手軽な日々の 食事		14:30~16:30 福祉機器開発最前線 デモンストレーション

※自由参加、先着順にご案内いたします。

東6ホール内／小間番号：6-18-06

被災地応援コーナー【14】

昨年に引き続き、東日本大震災で特に被害の大きかった東北3県（岩手県、宮城県、福島県）のセルブ（障害者授産施設）の製品を販売いたします。

～H.C.R.40周年記念パネル展示～【15】



福祉機器を利用する人々をささえ、40年

第1回の福祉機器展は、昭和49（1974）年11月16日にスタートしました。

背景には、国が進めていた社会福祉施設の緊急整備計画に伴い急増する老人福祉施設などで働く職員の腰痛や頸腕症候群などの職業病という問題がありました。そのため、福祉施設の整備とともに設備の近代化として車いす、ベッド、浴槽などの福祉機器を導入し、職員の負担軽減や入所者の処遇向上などをはかることが急務の課題でした。

以後、老人と障害者の自立と参加を支えることを目的として、福祉機器展は毎年開催されていきます。

1986年には、初めての国際福祉機器展示会が開催されました。

1992年からは、国際福祉機器展の規模も徐々に拡大し、海外企業の定着化と国内企業の参加が大幅に増えながら、福祉機器の種類、技術・機能、デザイン性も飛躍的に拡充してきており、H.C.R.は欧米に次ぐ規模の展示会として、今日にいたっています。

ここに40年の歩みをご紹介します。

1974年	第1回「社会福祉施設の近代化機器展」	都立産業会館（東京・大手町）
	国内企業 64社、来場者 9,641人	
1986年	第13回「国際保健福祉機器展」	東京晴海・国際貿易センター西館
	161社（海外67社、国内94社）、来場者 22,276人	
1996年	第23回「国際福祉機器展」	東京ビッグサイト
	201社（海外65社、国内136社）、来場者 41,133人	
2012年	第39回「国際福祉機器展」	東京ビッグサイト
	548社（海外58社、国内490社）、来場者 108,505人	

○場所 東京ビッグサイト・ガレリア 東2ホール前

○時間 H.C.R.会期中の終日（10：00～17：00）

注1）題名の横に「手話」マークのついたプログラムは、手話通訳を行います。

注2）各プログラム名の後の【 】内の数字は、プログラムNo.です。会場内でプログラムについてお尋ねの際などには、No.の数字をお申し出ください。

アクセス/ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

- A ゆりかもめ 国際展示場正門駅下車 3分
- B りんかい線 国際展示場駅下車 7分
- C 路線バス 東京ビッグサイト下車すぐ

H.C.R.2013 新製品の紹介／福祉機器ガイドブックより

㈱アムテック フォームガン【入浴用品】 14,280 円

～浴室清掃で2時間かかったのが30分に～

フォームガンは、水圧のみで細かなフォーム（泡）状に噴霧し、浴室のスメリや石鹸カスなどに密着しやすくします。弊社の浴室用洗剤「CDC-10」と併用すると、擦り作業をせずにキレイに落とすことができます。浴室が大きいほど作業効率が上がり、2時間かかっていた浴室が30分に削減できた事例もあります。

㈱エーアイジェイ 三輪歩行車 トライウォーカー【移動機器】 33,000 円

～屋内の歩行補助に、「小回りのきくウォーカー」～

狭い場所でも自在に方向転換ができます。後輪で横すべりを防止しながら、進みたい方向に操作ができ、病院や施設内でのご使用に便利です。また大きくて、厚みのある車輪なので、ちょっとした外出にもお使い頂けます。コンパクトに折りたたみ、収納にも場所をとりません。重さも5.3kgと軽く持ち運びに便利です。バッグ、バスケット（オプション）も付属しています。

オージー技研㈱ ジュスト HK - 255G【入浴用品】

～省スペース設計のウォークスルーオンラインバス～

ご好評のウォークスルーオンラインバスがリニューアルし、『ジュスト』として新登場。寝たまま入浴に必要な様々な機能を備えながら、最小3m×3mのスペースがあれば設置可能です。浴槽がコンパクトになっても、入浴スペースは広々で、足元もゆったりしています。

セコム㈱ マイスプーン【日常生活支援用品】 レンタル料月額6,405円～

～「自分で好きなものを食べたい」。その願いを実現します。～

手の不自由な方が自分で食事を摂るためのロボットです。ご飯やおかずなどほとんどのものが食べられます。操作は簡単で、お身体の状態に合った操作方法や装置をお選びいただけます。レンタル方式のほか、399,000円より、お買い上げいただくこともできます。

大和ハウス工業㈱ 免荷式リフト POPO（ポポ）【移動機器】 本体価格 498,000 円

～転倒防止機能で安全な歩行訓練や立位保持訓練ができます～

世界初のサスペンションアームと独自のハーネスを採用することにより、不安定な身体をしっかりと支え体重を分散した免荷条件での歩行・立位保持訓練ができます。また、従来の免荷リフトよりもコンパクトな設計で80cm幅の通路も通行可能です。バッテリーでアクチュエーターを作動させ、最大100kgまでの装着者をリフトアップさせることができます。

タケモトデンキ㈱ 超音波離床検知システム Care 愛 ペンダント仕様【コミュニケーション機器】

137,550 円

～徘徊・トイレも検知可能コンセントさえあれば後付可能な画期的なシステム～

超音波離床検知システム Care 愛は「さりげない見守り」をテーマに人目につかず、誤検知がなく耐久性に優れている超音波センサーとコンセント間で信号を伝送する技術を使い全く工事も必要なく簡単に居室と詰所間を連携できる画期的なシステムです。また、スタッフが持つ携帯ペンダントへも同時通知します。

㈲)でく工房 レポチェア【福祉施設・住宅環境設備/用品】

～座位が不安定なお子さまの骨盤をきっちり支えます。～

普通型の椅子ではちょっと体がフラついてしまう、だけど体をごっちりフォローする必要はない、というお子様用の椅子です。両脇のパットと背中ベルトを調整すれば、骨盤をピッタリサポートしてくれます。ここがしっかり支えられると、背中がピンと伸びて、手も自由に動かすことができます。

東海エコ工業㈱ 操作盤式電気不要自動ドア【移動機器】

～車椅子利用者に最適！操作盤式電気不要自動ドア～

操作盤を押すことによりドアが開閉する電気不要自動ドア。車椅子利用者向けに操作盤の位置を工夫致しました。

名古屋工業大学 無動力歩行支援機 (ACSIVE 2013 年モデル)【移動機器】

～シンプル！歩行アシストが身近になります。～

日常生活での長時間使用を考慮して、軽量・薄型を実現しました。歩行支援機の重量は1kgを切っています。身体的な負担がかなり軽減され、長く使っても苦になりません。もちろんバッテリー切れの心配もありません。自宅内を動き回る際、支援機の脚部がねじれ易いことから方向転換が容易となっています。

橋本エンジニアリング㈱ 車いす用汎用アシストユニット【移動機器】

～車いすに取り付けるだけで電動アシスト車いすに！～

現在使用している車いすの後方に電動ユニットをセットするだけで自走式車いすが電動アシスト車いすに変身！脱着が可能な電動アシストユニットが登場！

ビジョン タヒラ㈱ ティルトリクライニング車いす コンフォートアシスタ (介助ブレーキ付き)【移動機器】

260,000 円 (非課税)

～ご希望の多かった「介助ブレーキ付き」機種をラインナップ～

- 骨盤の後傾を防ぐティルトリクライニング機能と、座位姿勢を保持する体幹&骨盤サポート機能がある車椅子です。
- 座位姿勢を維持して生活することを目的としています。
- ノブボルトの調整なので、簡単にフィッティングできます。
- 小柄な女性の体格にフィットしたコンパクトな設計となっています。

*上記の製品は、H.C.R.2013 福祉機器ガイドブックにお申込みいただいた新製品のなかから、掲載内容が確定したものを順次社名アイウエオ順で紹介したものです。特段の選考によるものではありません。

※注1: この内容は平成25年8月15日時点での予定です。内容や日程は予告なく変更する可能性がありますので、ご来場の際は最新情報をご確認ください。

※注2: 各プログラムへの最新のご参加内容については、H.C.R. Web サイト(www.hcr.or.jp)で順次ご案内します。

H.C.R. 2013 事務局

(財)保健福祉広報協会

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5F

TEL. 03-3580-3052

FAX. 03-5512-9798

http : //www.hcr.or.jp